

事業 優先順位		2	細事業:自動車文庫事業					整理 番号	02		
目 的		図書館・公民館図書室の利用が困難な地域住民に、身近な図書館サービスを提供すること。									
目 標		自動車文庫が活発に利用されることで、図書館資料が市民に活用されるようにする。貸出上限冊数を図書館と同様に10冊から20冊に倍増する。									
事業 実施主体		直 営	事業開始 年 度	昭和60年度	根拠 法令	図書館法第3条					
事業費・財源			平成25年度	平成24年度	比 較	コスト情報・従事職員数			平成25年度	平成24年度	比 較
	事業費 (決算額) (千円)		2,181	2,565	-384		総コスト (千円)		6,582	7,149	-567
	財源内訳	一般財源	2,181	2,565	-384		内 訳	事業費	2,181	2,565	-384
		国府支出金	0	0	0			人件費	4,401	4,584	-183
		地方債	0	0	0			公債費	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0			一人あたり (円)	59	63	-4
			0				世帯あたり (円)	139	152	-13	
			0				職員数 (人)	0.55	0.55	0.00	
			0				再任用職員数 (人)	0.10	0.10	0.00	
参 考											
今後の方向性		自動車文庫のステーション周辺自治会に対するPR方法を検討し、利用の拡大を推進する。									
評 価	妥当性	効率性	有効性	対象者	河内長野市民						
	A	A	A								



【高齢者や子育て中の世代の読書環境を支える自動車文庫】

細事業：自動車文庫事業

市内全域での図書館サービスを目指し、市内に２３箇所のステーションを設け、自動車文庫による巡回を行った。

1. 自動車文庫利用の利便性向上への取り組み

４月から、利用者の利便性と読書環境の向上・充実を図るため、１人当たりの貸出上限冊数を１０冊から２０冊に拡大した。また図書館システムの更新に伴い、巡回用ノートパソコンを導入し、利用者への速やかな図書館資料情報の提供を行った。

2. 自動車文庫蔵書状況

自動車文庫の利用者層を考慮しながら、適切な蔵書体系の構築を図った。

自動車文庫蔵書数

一般書蔵書冊数	児童書蔵書冊数
9,060冊	9,068冊



【多くの市民に愛されている自動車文庫】



【７月に開催した小学生向け「図書館探検ブック」配布イベント】